

【35】 なぎなた競技

1. 期 日 平成29年8月6日（日） 午前9時

2. 会 場 金沢市営西部市民体育会館（金沢市東力町ハ250番地 076-291-6450）

3. 区分及び参加人員

区 分			監 督	選 手		合 計
				団体	個人	
正式競技	一般の部	女子（演技のみ男子可）	1	9	4	14
正式競技	壮年の部	女子（演技のみ男子可）	1	9	—	10

4. 競技上の規定及び方法

（1） 全日本なぎなた連盟競技規定及び審判規定による。

（2） 競技は演技競技と試合競技とする。

演技競技は全日本なぎなた連盟仕掛け応じ技3本を旗形式で行う。また、「一般の部」及び「壮年の部」ともに演技競技のみ男子の出場を認める。

（ア） 正式競技 一般の部（団体戦）

① 一般の部の出場者は年齢に制限はない。

② 演技競技は、全日本なぎなた連盟仕掛け応じ技のうち「1本目・5本目・8本目」を旗形式で行い、1チーム3組出場とする。原則として2組以上は参加するものとし、勝数及び勝本数が同数になった場合は、代表決定戦を行い、団体出場者であれば誰が出ててもよい。

③ 試合競技は、1チーム3名とする。

試合時間は、3分とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。勝数及び勝本数が同数の場合は代表決定戦を行う。代表決定戦の試合時間は3分1本勝負とする。勝敗が決しない場合は、延長戦を行い試合時間2分延長1回判定とする。

④ 競技は、演技競技・試合競技ともトーナメント方式で行い、4位まで決定する。なお、準々決勝に進出したチームはすべて5位とする。

⑤ 監督は選手を兼ねてもよい。また、選手は1人2種目（演技競技・試合競技）に出場できる。

（イ） 正式競技 一般の部（個人戦）

① 参加選手は4名以内とする。但し、団体戦に出場した選手は出場できない。

② 競技は、演技競技・試合競技ともトーナメント方式で行い、4位まで決定する。なお、準々決勝に進出したチームはすべて5位とする。

③ 演技競技は、全日本なぎなた連盟仕掛け応じ技のうち「1本目・5本目・8本目」を旗形式で行う。

④ 試合時間は3分とし、勝敗が決しない場合は、延長戦を行い試合時間は2分延長1回判定とする。

⑤ 監督は選手を兼ねてもよい。また、選手は1人2種目（演技競技・試合競技）に出場できる。

（ウ） 正式競技 壮年の部（団体戦）

① 壮年の部の出場者は昭和41年4月1日以前に生まれたものとする。

② 演技競技は、全日本なぎなた連盟仕掛け応じ技のうち、2本目・5本目・7本目を旗形式で行い、1チーム3組出場とする。原則として2組以上は参加するものとし、勝数及び勝本数が同数になった場合は、代表決定戦を行い、団体出場者であれば誰が出ててもよい。

- ③ 試合競技は、1 チーム 3 名とする。

試合時間は、2 分とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。勝数及び勝本数が同数の場合は代表決定戦を行う。代表決定戦の試合時間は 2 分 1 本勝負とする。勝敗が決しない場合は、延長戦を行い試合時間 1 分延長 1 回判定とする。

- ④ 競技は、演技競技・試合競技ともトーナメント方式で行い、4 位まで決定する。なお、準々決勝に進出したチームはすべて 5 位とする。

- ⑤ 監督は選手を兼ねてもよい。また、選手は 1 人 2 種目（演技競技・試合競技）に出場できる。

(エ) 正式競技の成績決定方法

- ・「一般の部」は、団体戦及び個人戦の各種目ともに仮に 1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 2. 5 点の得点を与え（参加数により仮得点は変更する）、その 2 種目の合計得点により順位を決定し、総則による得点を得るものとする。
- ・「壮年の部」は、団体戦の種目に仮に 1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 2. 5 点の得点を与えて（参加数により仮得点は変更する）順位を決定し、総則による得点を得るものとする。

5. 選手交代について

- ・正式競技間（団体戦、個人戦）の交代は認めない。
- ・申し込み後に新たな人と交代する場合は、総則 12 に定めるところによる。申し込み時の仕掛け応じ並びオーダーを変更することはできない。

6. 参加資格

- ・参加資格は総則 9 に定めるところによる。

7. 表彰

- ・総合成績及び全種目において 1 位から 3 位までに賞状を授与する。

8. 参加申込方法

- ・総則 12 に定めるところによる。